

## 【令和8年 横手警察署管内の不審電話や詐欺被害について】

警察職員や金融機関職員をかたり、個人情報や口座情報を聞き出そうとしたり、SNSで知り合った相手に好意や親近感をいだかせて信用させ、現金や電子マネーを購入させて番号を聞き出すなどの詐欺の手口があります。  
 このような電話があった場合は、特殊詐欺を疑い、すぐに警察に相談してください。  
 防犯機能付き電話の利用や、電話の相手に録音していることを知らせることも特殊詐欺の被害防止に効果があります。また、国際電話がつかわれる場合もありますので、「+」から始まる電話番号に注意してください。

No.	標 題	発生日時	相談者・被害者	被害金品	概 要
1	特殊詐欺被害の発生について	1月7日（水）から 1月9日（金）までの間	横手市居住の 20代男性	現金10万円	1月7日、被害者のTikTokに「私たちの製品を紹介してくれれば報酬を支払う」とのメッセージが届いた。女性名義のLINEアカウントとやりとりすると「韓国発のマスクを郵送する。宣伝すると報酬を得られる。報酬を受け取るため専用サイト『889』に登録するように」と指示された。登録後、相手から契約料と広告費として10万円をサイト上の口座に振り込んだと伝えられたが引き出せなかった。「口座の審査のため10万円を振り込む必要がある」と説明され、指定された法人名義の口座に振り込んだが引き出せず、さらに現金を要求されたため不審に思い警察に相談して詐欺被害に遭ったことに気が付いた。
2	SNS型ロマンス詐欺被害の発生について	令和7年11月中旬から 令和8年1月5日（月）までの間	横手市居住の 30代男性	暗号資産合計565万 8,500円相当	令和7年11月中旬、出会い系アプリで女性を名乗る相手と知り合い、LINEで連絡を取り合ううちに親近感を抱くようになった。「叔母が投資で利益を得ている」などと投資に誘われ、12月に指示されて1万円相当の暗号資産を購入した。「SNUVBFX」というアプリのダウンロードと暗号資産取引用アドレスへの送金を求められて従うと、アプリ上では利益が出ているように表示された。相手から「元金を増やすと利益がもっと増える」などと伝えられたため、1月5日にかけてさらに9回、計564万8,500円相当の暗号資産を送金した。その後、相手と連絡が取れなくなり、相手に指示されてダウンロードしたアプリをインターネットで検索したところ、すでに削除されていたことを不審に思い、警察に相談した。
3	特殊詐欺被害の発生について	1月23日（金）から 1月26日（月）までの間	横手市居住の 60代女性	現金約580万円	1月23日、被害者の自宅に農協サポートセンターを名乗る男から電話があり「年金3万5,200円の払い戻しがある」「A TMに行けるか」などと言われた。指定されたA TMに到着し車で待っていると言われ再び男から電話があり、指示通りA TMを操作した。その後、男から「暗証番号が間違っている」「また行く必要がある」などと電話があったため、指示に従ってA TMを操作した結果、自分の口座から8回にわたり、合計580万円が会社名義や個人名義の複数の口座に送金された。1月26日に金融機関から詐欺被害を懸念する連絡を受けた被害者が警察に相談した。
4	SNS型ロマンス詐欺被害の発生について	令和7年12月26日（金）から 令和8年1月28日（水）までの間	横手市居住の 20代男性	合計約231万円分の暗号資産	12月26日、マッチングアプリで知り合った相手とLINEでやりとりするうち、好意を抱くようになった。相手から「叔父が投資家として名古屋で金融分析グループを運営している」「投資を始めれば共通の話題ができる」などと誘われ、インターネット上の暗号資産取引所「ビットバンク」に会員登録した。その後、LINEを通じて相手から送られてきたURLから「MseaNFT」というアプリをダウンロードして同アプリの取引用アドレスに送金した。アプリ上では利益が出ているように表示された。「資金を増やすと利益が増える」「資産の引き出しには税金がかかる」などと言われ、5回にわたり、合計約231万円相当の暗号資産を取引用アドレスに送金し、だまし取られた。同アプリのサポートセンターを名乗る相手から「脱税の疑いがある」などと連絡があったため不審に思い、警察に相談した。
5	特殊詐欺被害の発生について	1月30日（金）から 2月4日（水）までの間	横手市居住の 30代男性	電子マネー 利用権1万 3,000円分と キャッシュ カード1枚	1月30日、被害者がSNSで副業を探していたところ、見知らぬアカウントから「登録すれば5万円から100万円の賞金を授与する」「詳細はLINEで問い合わせてください」とのメッセージが届いた。相手とLINEでやり取りし、指示されたサイトに登録すると、サイト上で約58万円を得たように表示された。その後、相手から「賞金を受け取るためには必要な経費として3,000円を電子マネーで支払う必要がある、受け取るには税金が必要」などと要求され、2回にわたり、合計1万3,000円分の電子マネー利用番号を相手に伝えた。さらに、相手から要求され、指定された住所にキャッシュカード1枚を送付した。その後、被害者が口座残高を確認すると、身に覚えのない入金があり、不審に思い、警察に相談したことで詐欺被害に遭っていたことが発覚した。

6	特殊詐欺被害の発生について	2月9日（月）から 2月21日（土）まで の間	横手市居住の 60代男性	現金1万円 と電子マネー 利用権 合計21万円	<p>被害者は、2月9日、TikTokを通じて知り合った女性をかたる相手とLINEで連絡を取り始めた。相手から「直接会うためにはクラブ会員になる必要がある」などとメッセージが届き、被害者は指定された銀行口座に現金1万円を入金した。その後、新たにやりとりするようになった女性名の別のアカウントから「クラブ会員を有効化することでデート手当を支給する」などのメッセージが届いたため、横手市内のコンビニエンスストアで2回にわたり11万円分の電子マネーを購入して利用番号を伝え、電子マネー利用権11万円分をだまし取られた。</p> <p>2月19日には、TikTokを閲覧中に「経済的配慮から国民一人あたり200万円を補償する」とのダイレクトメッセージが届いた。被害者が返信すると、出金手数料などを求められて、横手市内のコンビニエンスストアで4回にわたって10万円分の電子マネー利用権を購入して利用番号を伝え、電子マネー利用権10万円分をだまし取られた。2月21日、横手市内のコンビニエンスストアから情報提供があり、被害者から聴取したところ、被害が判明したものの。</p>
7	特殊詐欺被害の発生について	2月10日（火）から 2月20日（金）まで の間	横手市居住の 70代男性	現金合計58 万5,000円	<p>被害者は、Facebookを閲覧中、副業の広告を見つけアクセスしたところ、LINEの友達追加画面になり、出てきたアカウントを追加した。相手から「指定した画像をスクリーンショットで送れば報酬が得られる」などと伝えられ、画像を送信すると、被害者の銀行口座に現金が振り込まれた。その後、同様の作業を繰り返して報酬を得たが、相手から秘匿性の高い通信アプリ「テレグラム」に誘導され、送金額次第で報酬が増えるとの副業を紹介された。被害者はネットバンキングで2月18日に5,000円、2月19日に13万円を指定された口座に送金。2月20日には操作の誤りを指摘され、違約金名目で45万円を振り込んだ。2月23日にお金を借りるために友人宅を訪問した際に詐欺ではないかと言われて警察に相談し、被害が分かった。</p>
8	オレオレ詐欺の未然防止事案について	2月16日（月）午後 5時頃		なし	<p>2月16日午後5時頃、横手郵便局において、携帯電話で通話しながらATMを操作をしている高齢女性の行動を不審に思い、男性客と局員らが連携して声掛けをした。手続きの理由を確認したところ、詐欺の被害が疑われたため、ATM操作を止めるように促し、警察に通報するなど適切に対応して被害を未然に防止したものの。</p>
9	特殊詐欺被疑者の逮捕について		横手市居住の 70代女性	現金100万円	<p>横手署は2月26日、兵庫県西宮市、職業不詳、正垣銀河27歳を詐欺の疑いで逮捕した。逮捕容疑は、栗原正太（令和7年逮捕済）らと共謀し、令和7年9月23日から翌24日にかけて、孫をかたって被害者宅に電話をかけ「喫茶店でスマホや財布、会社の書類が入ったかばんをなくした」「会社に100万円を払わなければならぬ」「上司の息子が受け取りに行くので待っていてほしい」などとうそを言い、9月24日に共犯者栗原正太が被害者から受け取った紙袋入りの現金100万円を、近隣の駅のトイレで引き継いだ疑い。</p>